

選択必修 02 アクティブ・ラーニングの考え方と実践

開講日 8月 10日(木)

受講料 6,000 円

募集人員	時間数	履修認定対象職種	試験方法	担当講師
70名	6時間	全教諭	筆記試験	
講習内容 次期の学習指導要領では、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）が重点的に取り扱われるとされる。本講習では、アクティブ・ラーニングの意義、考え方、特別活動との関係などについて、講義と演習を交えて考察する。				大阪市立大学大学院 文学研究科 准教授 添田 晴雄
主な受講対象者 小学校・中学校・高等学校 教諭				

時限	担当講師	授業概要
1限	添田 晴雄	「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（中教審第197号）等を手がかりにして、次期学習指導要領の目指す方向を確認します。
2限	添田 晴雄	センター入試に代わって導入される「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の骨子の確認と、これまでの「全国学力・学習状況調査」の問題分析を踏まえて、「試験」の出題傾向からも読み取れる学力観の転換を考察します。
3限	添田 晴雄	1・2限の考察を踏まえつつ、「アクティブ・ラーニング」の意義と考え方を考察します。
4限	添田 晴雄	「アクティブ・ラーニング」と特別活動との関係を考察します。また、「アクティブ・ラーニング」の導入・実践にあたっての課題について考察します。
受講生へのメッセージ		演習では、受講者が積極的に考えること、それを話すこと、そして、多様な他の受講生と協働して学びあうことを重視します。休憩時間はしっかりと確保しますが、演習活動の進行により、定められた校時とは違う時間配分になることを予めご了承ください。